笑うイラク魂～民の声を聞け（2003）

メディア 映画
ジャンル ドキュメンタリー
製作国 日本
色彩 Color
時間 60分
初公開日 2003/03/08
公開情報 ボックスオフィス

【解説】
国連による大量破壊兵器の査察が進む2002年12月のイラク。米国主導による武力行使の危険が日に日に高まるこの国を、東京新聞の記者でもある吉岡逸夫監督が訪れ、イラク市民の生の声を拾い集めたドキュメンタリー。吉岡監督は2001年の末には、米国による報復攻撃が続くアフガニスタンに赴き同様にドキュメンタリー作品を撮り上げている。
9.11の同時多発テロという未曾有の悲劇を受けて、ビンラディン率いるテロ組織アルカイダの壊滅とそれを支援するアフガニスタンのタリバン政権打倒に乗り出したジョージ・W・ブッシュ米国大統領。圧倒的な武力をもって一気にタリバン政権を崩壊へ導くと、ブッシュ政権の矛先は「悪の枢軸」と名指しするイラクのフセイン政権へと向かう。アルカイダとフセイン政権の関係や国連決議違反が明確に証明されない段階で、武力行使に傾く米国に対し、各国の足並みは必ずしも揃ってはいない。2002年12月、そんな緊迫状況のイラク・バグダッドに吉岡監督は足を踏み入れた…。

【クレジット】
監督 吉岡逸夫
撮影 吉岡逸夫

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.